



濃硫酸サクションホース



仕 様 SPEC

呼称 Nominal Size	内径 I.D. (mm)	外径 O.D. (mm)	補強層 Reinforcement		最小曲げ半径 Min Bend Radius (mm)
			硬鋼線 Wire	補強布 Fabric (プライ数)	
25	25.4	46.2	φ 1.6	4CP	200
32	31.8	52.6	φ 1.6	4CP	250
38	38.1	58.9	φ 1.6	4CP	300
50	50.8	73.4	φ 2.0	4CP	400
65	63.5	87.3	φ 2.6	4CP	500
75	76.2	101.0	φ 2.6	4CP	600
90	88.9	114.9	φ 3.2	4CP	720
100	101.6	130.0	φ 3.2	4CP	800

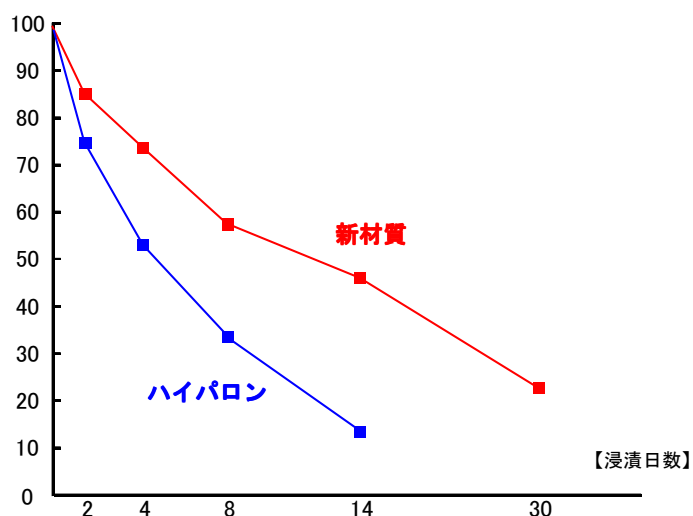
※上記タイプ以外に下記タイプも製作しております。

(サクションデリバリー兼用タイプ、バンドレスタイプ、ニップルレスタイプ、その他の御要望の仕様により構造設計いたします。)

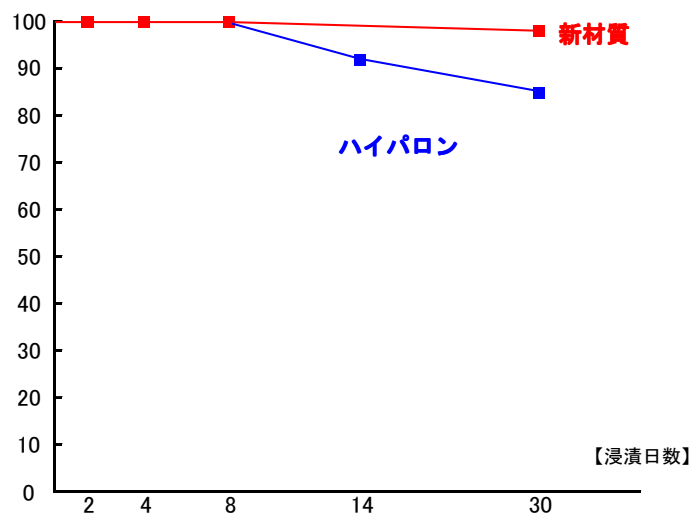
※使用上の注意事項につきましては、裏面の「取扱説明書」をご確認願います。

試 験 成 績 表

■濃硫酸 98%に浸漬後の引張強さの保持率 (温度 50℃)
【保持率 (%)】



■濃塩酸 35%に浸漬後の引張強さの保持率 (温度 30℃)
【保持率 (%)】



※ 本カタログに記載する性能は規格値ではありません。ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかご確認下さい。また記載内容は性能向上、仕様変更などのため断りなく改訂することがありますので、ご了承下さい。



株式会社 十川ゴム

〒550-0015 大阪市西区南堀江 4 丁目 2 番 5 号

TEL (06) 6538-1261 FAX (06) 6531-3238

ホームページ <http://www.togawa.co.jp>

ご使用前に必ずお読み下さい。

濃硫酸サクションホース取扱説明書

お買い上げありがとうございます。この製品は特殊合成ゴム製の濃硫酸用ホース（以下、ホースという。）です。この取扱説明書は 1. ホース仕様 2. 取扱いについて 3. 保守点検の順に説明しておりますので、ご使用前によく読んでご利用下さい。また、大切に保管して下さい。

1. ホース仕様

呼称	25～100
補強ワイヤー	あり
流体	1～98%硫酸
流体温度	50℃以下
圧力（ゲージ圧）	－93kPa～0.5MPa
雰囲気温度	－5～50℃

2. 取扱いについて

濃硫酸は危険な物質ですので、次の事項を守って正しいお取扱いをお願い致します。



危険

- 発煙硫酸には使用しないで下さい。
 - 発煙硫酸に使用すると、ホース劣化を著しく早めます。
- 50℃を超える温度では使用しないで下さい。
 - 流体温度、雰囲気温度共、50℃を超える温度で使用しますと著しく劣化が促進されます。

〔危険〕の表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。



警告

- ホースは最小曲げ半径以上で使用し、折れないように使用して下さい。また、折れた場合は直ちにホースを交換して下さい。
- ホース膨れ又は内面ゴムの硬化、亀裂、はく離等が認められた場合は直ちに交換して下さい。

〔警告〕の表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。



注意

- ホースは引っ張ったり、捻じったりしないで下さい。
 - ホースに引っ張りや捻じれを加えるとホースに部分的に力が集中し、ホースの劣化を早めます。
- ホースには傷、摩耗、衝撃を与えないで下さい。
- ホースを巻いて保管する場合は、最小曲げ半径以上に巻いて下さい。
- ホースの使用条件（使用頻度、温度、濃度、保管状態等）により流体が着色する可能性があります。
- ホース使用後は、ホース内は洗わずに流体を完全に抜いて下さい。
 - ホース内を水などで洗うと水と硫酸が反応して発熱し、ホースを劣化させます。また、ホース内に流体が残ったまま保管しますと、その部分の劣化が進行し、また、硫酸自体も変色しますのでご使用できなくなる場合があります。
- ホースは踏まないで下さい。また、上に重量物を置かないで下さい。
 - ホースが変形や損傷しますと正規の寿命が期待できず、不測の破裂や破損を生じます。
- ホースの保管は直射日光のあたらない涼しいところにして下さい。
 - ホースに直射日光が当たると高温となって内面ゴムが劣化し、亀裂の原因となります。

〔注意〕の表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

3. 保守点検

ホースは濃硫酸によって劣化します。次の項目を点検し、異常を発見した場合は新しいホースと交換して下さい。

点 検 項 目	処 置
・ ホース内面ゴムに硬化、亀裂、はく離がないか。	ホースは交換して下さい。
・ ホース内面ゴムにふくれ、摩耗、カット傷がないか。	ホースは交換して下さい。
・ ホースに変形、潰れがないか。	ホースに外面保護を施すか、ひどい場合は交換して下さい。

ホースは、出来れば約3ヶ月に1回 180° 回転させてご使用下さい。ホース下部は流体と接触する頻度が高く劣化しやすくなりますが、180° 回転させることにより長寿命化が計れます。

なお、ホース交換の目安は使用後約6ヶ月～1年です。

※仕様・性能等、又、ご使用上でご不明な点があれば、弊社までお問い合わせ下さい。